

対象：社員・メイト社員・エルダースタッフ

2024年5月
三越伊勢丹グループ労働組合
新潟三越伊勢丹支部

5月13日（月）労使協議会を開催し、 2024年6月賞与組合要求に満額回答をいただきました。



5月13日（月）15:00より、労使協議会が開催されました。組合からの要求を受け、櫻井社長より労使協議で詰めてきた内容について相違がないため、その場での満額回答が出されました。

<会社回答にあたって> 櫻井社長のコメント



いただいた要求を会社として慎重に検討した結果、満額で回答いたします。従業員の皆さまの日頃のご尽力について、改めて感謝申し上げます。この場を借りて、いくつか皆さまにお話しをさせていただきます。

① 2023年度の業績について

2023年度は、中期経営計画の「結実の年」として統合後最高益の10億円を目指してスタートいたしました。結果として目指した予算には届かなかったものの増収増益を4年連続で達成することができました。

新型コロナウイルスが5類に引き下げられ、入店客数は大きく改善しました。駐車券サービスの改定、歳暮ギフトの送料見直し、サテライトショップへの店間便の有料化など、収支改善にも着手し、第3四半期終了時点では営業利益10億円に手の届くところまで来ていました。しかしながら、2024年1月1日の能登半島地震により当社も大きな打撃を受け、第4四半期は非常に厳しい結果となりました。その中でも1月2日の初商においては従業員の皆さまにご理解をいただき、1万9千人を超えるお客さまのご期待に応えることができました。重ねて御礼申し上げます。

② 2024年度の位置づけについて

24年度は現行の中期経営計画の最終年度であるとともに、次期中期経営計画の助走の年でもあります。そして新潟伊勢丹開店40周年の節目の年となります。お客さまに40年間のご愛顧への感謝を伝えるとともに、未来の新潟伊勢丹のために、変革への挑戦をしてみたいと思います。

新潟駅が60年ぶりの大改装を終え、新潟のマーケット自体が大きく変化し始めています。この中にあって新潟のお客さまに選ばれるお店であり続けるために、どうい存在であるべきか、皆さまと考える1年にしたいと思っています。2024年度も営業利益10億円を目指していきます。一人ひとりの「ひとの力」を最大化することができれば、必ず達成できます。本年度も宜しくお願い致します。

<会社回答受諾にあたって> 星田委員長のコメント

6月賞与要求に対する即日回答をいただきまして、ありがとうございます。
2023年度の企業業績として、予算には届かなかったものの、
売上は3億円・営業利益は2億円の増収・増益を果たすことができました。

この結果をメンバーの報いにつなげるべく、賞与支給水準に対して
前向きにご検討いただいたこと、満額でご回答くださったことに感謝申し上げます。

外部環境の変化がある中、中期経営計画・3か年の最終年度として、
メンバー一丸となってさらに邁進していく必要があります。
「こころ動かす、ひとの力で」企業理念のもと、メンバー一人ひとりがモチベーション高くお客さま満足
を高めることができ、自身の貢献・やりがいを実感できる職場環境の実現を労使一体で目指していきたい
と思います。

その結果として、今年度も企業とメンバーの持続可能な成長へつなげていくことを確認し、
会社回答受諾のご挨拶とさせていただきます。本日はありがとうございました。



2024年6月賞与要求にあたっての基本的な考え方

賞与の業績評価指標と考え方

年間2回の賞与について、新潟三越伊勢丹では賞与支給表を用いた「半期交渉」を行っています。12月支給賞与は企業存続の懸念など特別な問題がない限り、支給表の満額を要求します。6月支給賞与は前年度の状況（営業利益額予算比・売上高予算比 + 定性指標）を鑑み、具体的な支給ヵ月を要求します。

2023年12月支給賞与		
営業利益額 予算比	売上高 予算比	定性指標

上記3項目を鑑み、
企業存続の懸念がなければ、
支給表の満額を交渉

2024年6月支給賞与		
営業利益額 予算比	売上高 予算比	定性指標

上記3項目を鑑み、
賞与支給表を基準に交渉

2023年度決算について

(株)新潟三越伊勢丹 2023年度通期業績

単位：百万円

	実績	予算比	前年比	予算額	前年実績
売上高	35,939	94%	100%	38,000	35,610
営業利益	812	81%	134%	1,000	605

2023年度は売上高380億円・営業利益10億円を目標として設定しました。

結果としては、売上高359億円・営業利益8.12億円となり、賞与交渉における定量的指標（営業利益額予算比、売上高予算比）は目標未達となりました。

一方で、定性指標としては報いるべき従業員の努力が多く見られました。1月1日の能登半島地震の際には、地域への貢献として翌日正午からの営業を実施しました。従業員の安否・建物の安全確認を徹底した上で開店し、結果として多くのお客さまにご来店いただくことができました。また、CRM戦略として、識別顧客を増やすために「MIカード会員新規獲得」「アプリ会員新規獲得」を推進し、各所属の自発的な取り組みが成果に結びついています。

これらの努力・取組の全てが売上・利益につながっていることを鑑みて、会社より即日満額回答をいただきました。

2024年6月賞与支給水準

雇用区分	今回要求	参考：基準となる支給表に対する増減	参考：昨年支給実績に対する増減
社員 ステージB	平均3.1ヵ月	マイナス0.2ヵ月	同水準
社員 ステージC、C-t	平均2.3ヵ月	マイナス0.1ヵ月	同水準
メイト社員	平均1.35ヵ月	マイナス0.05ヵ月	同水準
エルダースタッフ	支給表通り	同水準	同水準

社員 賞与

ステージB

平均3.1ヵ月の支給

評価	B2	B3	B4	B5	B6	B7	B8	B10
6	4.3	4.0	3.7	3.4	3.1	2.8	2.5	2.8
5	4.1	3.8	3.5	3.2	2.9	2.6	2.3	2.6
4	3.9	3.6	3.3	3.0	2.7	2.4	2.1	2.4
3	3.7	3.4	3.1	2.8	2.5	2.2	1.9	2.2
2	3.5	3.2	2.9	2.6	2.3	2.0	1.7	2.0
1	3.3	3.0	2.7	2.4	2.1	1.8	1.5	1.8

・担う役割と2023年度（年間）における個人評価を反映し、支給ヵ月を決定します
 ・本給および役割ゾーンは2024年3月31日現在とします

単位：ヵ月

ステージC、C-t

平均2.3ヵ月の支給

評価	A職	L職 専門 スタッフ セールス	SL職	販売 C-t	業務
S	2.6	2.5	2.4	2.3	2.0
A	2.5	2.4	2.3	2.2	1.9
B	2.4	2.3	2.2	2.1	1.8
C	2.3	2.2	2.1	2.0	1.7
D	2.2	2.1	2.0	1.9	1.6

・担う役割と2023年度下期における個人評価を反映し、支給ヵ月を決定します
 ・本給および資格・役割ゾーンは2024年3月31日現在とします

単位：ヵ月

メイト社員 賞与	平均1.35か月の支給
----------	-------------

評価	L職 外商	SL職	販売 スタッフ	<ul style="list-style-type: none"> ・担う役割と2023年度下期における個人評価を反映し、支給か月を決定します ・本給および役割は2024年3月31日現在とします
S	1.65	1.55	1.45	
A	1.55	1.45	1.35	
B	1.45	1.35	1.25	
C	1.35	1.25	1.15	
D	1.25	1.15	1.05	

単位：か月

エルダースタッフ 賞与	基準となる支給表通り
-------------	------------

エルダースタッフ（月給制）	単位：か月				
職種	S評価	A評価	B評価	C評価	D評価
エルダースタッフ※	1.4	1.2	1.0	-	-
エルダースタッフⅠ	1.6	1.3	1.0	0.9	0.8
エルダースタッフⅡ	1.7	1.4	1.1	1.0	0.9
エルダースタッフⅢ	1.8	1.5	1.2	1.1	1.0

エルダースタッフ（時給制）		+	S評価	A評価
職種	基本賞与		みなし本給 ×0.4か月	みなし本給 ×0.2か月
エルダースタッフⅣ・Ⅴ	みなし本給 ×1.0か月			

・2023年度下期における個人評価を反映し、支給か月を決定します
 ・本給は2024年6月1日現在とします

2024年6月の賞与支給日：6月14日（金）